

粹
前向きに、
楽しく

JCLIFE

2021年
新春号



一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook: <http://www.facebook.com/isojcnw>



2021年度理事長
安楽城 大作

尾道は日本遺産に認定されるほどの恵まれた風土や受け継がれてきた歴史や文化、伝統を持つ誇り溢れるまちです。しかし、世界的な新型コロナウイルスの蔓延により、その根幹が脅かされています。このような時だからこそ、それぞれの組織のリーダーたる我々全員が若い力を結集させ、本質を見極め、前向きに行動し、未来を創造していかねばなりません。我々が、先人たちから引き継がれてきた想いを基としながらも、固定観念に捉われることなく前向きに活動を繰り返していくことが、まちに暮らす人々の活力へと繋がり、組織の活性化へと繋がり、まちの未来を創り上げる。そうした気概を持って、活動を展開してまいります。

新型コロナウイルスの蔓延により様々な活動が自粛に追い込まれる中、尾道においてもあらゆる分野で負の影響が生じてしまっています。現状をしっかりと認識し、苦しみを分かち合い、まずはまちが活気を取り戻す活動を展開していかなければなりません。

活動の自粛を目の当たりにし、半ば当たり前のように享受してきた伝統文化に対し、それが当たり前でなかったことを思い知らされました。活動ができる有難さを再認識し、尾道の伝統・文化に積極的に関わり、その継続に向けてまち一体となって取り組んでいかなければなりません。

当たり前のことが当たり前のようにならなくなってしまうのは子供たちも同様です。人生において数少ない学生生活の思い出が次々と自粛に追いつまれないなか、子供たちの将来に及ぼす影響は図り知れません。このような状況下においても、子供たちが他者とのつながりや思い出を創り上げることのできる環境を出来うる形で整えること。それが今のまちに暮らす大人の責任であると考えます。

今後の尾道の未来を創造するための活動も並行して模索していかなければなりません。まちの発展は一部の人の功績であつては長続きしません。尾道に暮らす我々一人一人がまちをしっかりと見つけ、補い合つていかなければなりません。持続可能な尾道の未来の創造に向け、まち一体となつて取り組むべき活動を模索してまいります。

また、天災はどのような状況下においても起こります。そこに目を背けることなく、過去の経験を踏まえ、今後も予想される災いに対して継続的に対処し、防災に対する輪を広げていかなければなりません。

まちの未来をより良い形で創造していくために、我々の組織自体がさらに活気溢れ、魅力を持った団体へと成長していかなければなりません。我々

が青年会議所活動を行うことができるのは、諸先輩方が連綿とその志を継承し続けてこられたからです。動く力、考える力そして決断する力を持たなければ地域に貢献することはできません。そして我々が人として成長するための一番の原動力である出会いを未来に繋げていくためにも、会員拡大は大きなテーマです。

また、青年会議所の活動がまちの発展に寄与するためには、我々の活動に対し広く賛同を得る必要があります。そのために、このような状況下ではあるが、我々自身がまちに出て、多くの方々と交流を図り、JC運動を積極的に発信していかなければなりません。

2020年代がスタートするにあたり、尾道青年会議所としてどのような信念を持ち、どういった形で未来のまちの活力に繋げていくかを今一度見つめなおし、未来の仲間たちに引き継いでいきたいと思います。我々自身が活気を漲らせた活動を展開し、発信していくことが、まちを元気づけることに繋がっていくと確信しております。

困難な状況だからこそ見えるものがあります。それをしっかりと見つけることで、自身の置かれていた環境に感謝し、それを支えてくれる方々に敬意を感じることが出来ます。私たちがまずそれを実践し、周りに伝え広めていくことがリーダーの務めではないでしょうか。どのような状況においても大事なことを見極め、活力を周りに波及させることのできる人間、そんな粋な人間の集まる組織として、我々がまち尾道を盛り上げていきたいと思います。前向きに、楽しく。



1月6日(水)、正副事務局メンバーで良神社へ初詣に参りました。

安楽城理事長の下、コロナ禍で我々尾道JCができることは何か。求められていることは何か。それぞれ思いを巡らせ、今年度の活動の成功とメンバーの健康、そして、尾道のまちづくり・ひとづくりへの貢献を願い、ご祈禱いただきました。心をついに、一年間邁進してまいります。



(記事：日暮泰広)



安保会長年頭挨拶



尾道青年会議所
シニアクラブ
会長 安保 雅文

令和3年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃よりシニアクラブの運営に対しまして、温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの蔓延により全世界が困窮を極める一年となりました。そういった困難の中、加度亮平理事長率いる尾道J.Cはクラウドファンディングによる花打ち上げプロジェクトを成功させるなど、まちや市民の皆様を元気にする事業を行ったことは、シニアクラブとしまして誇りに感じております。

本年度の安楽城大作理事長は、「粹く前向きに楽しく」のテーマの下、まちに更なる活力を与える1年であって欲しいと願っております。若いリーダーたちがまちを想い、前向きに楽しく活動することで未来を創造し、輝かしい1年になることを祈念しております。

また、尾道J.Cとして9年ぶりに加度亮平ブロック会長を輩出するなど、大変喜ばしい限りです。シニアクラブとしてもできる限り応援をさせていただきます。

最後になりますが、尾道J.Cメンバーの益々のご活躍を祈念して新年のご挨拶いたします。



理事長新年のご挨拶



第65代理事長
安楽城 大作

新年あけましておめでとうございます。

2021年は、2020年代スタートの年として未来に向けて様々な変化が期待される年でもあります。私たちの考え方や行動をより柔軟にし、困難な状況にも適応しながら、より良いものにアップデートしていく姿勢が一層求められるのではないのでしょうか。

諸先輩方から継承してきた志を礎としながら、本質を見極め、固定概念に捉われないことなく本年も活動を展開します。

私たちの活動がまちに暮らす人々の活力へ繋がり、まちの未来を創造する。そうした気概を持ちながら、他者を受け入れ、敬意と感謝を持ち、能動的な思いやりの心を持って行動する、そんな『粹』な人間の集まる組織として、前向きに、楽しく我がまち尾道を盛り上げて参ります。

ブロック会長新年のご挨拶



広島ブロック協議会
会長 加度 亮平

新年あけましておめでとうございます。

今年9年ぶりに広島ブロックの会長（2012年度会長が手塚淳三先輩）を尾道青年会議所がお受けする事となりました。テーマは「素にして上質」です。

昨年からの引き続き今年も新型コロナウイルスによる影響は避けられない中だからこそ、ブロックが、本会、地区協議会と連携して、各LOMの牽引役となって地域を盛り上げていければと考えております。そして今年も、地域経済の再建、会員資質向上、会員拡大の3本の柱を軸として活動を展開していきます。根幹をしっかりと固めた広島ブロック協議会をつくるのが、広島県を明るく豊かにすると考えております。大変恐縮ですが昨年同様、皆様のお支えの元、出向者の皆様と強く、ユニークな一年にしていきます。どうぞよろしく願っています。



卒業例会

12月16日(水)尾道国際ホテルにて、今年度最後の例会となる12月卒業例会が行われました。

今年度のテーマは「New Direction ~Re Emotional connect~」となっており、感染症の猛威により活動を制限されたなか、会員同士のつながりを満足に感じるのできないまま卒業を迎えた卒業生の皆様に、少しでも心のつながりを感じて頂けるようOB、特別会員の皆様と共に見届け祝福して参りました。それぞれ個性豊かなエピソードで会場全体が暖かい雰囲気となり、これまでの心の繋がり「絆」を再確認できる最高の機会とすることができました。卒業例会にご協力いただきました方々には厚く御礼申し上げます。

改めまして、鍋島巧先輩、岡田健吾先輩、中谷純也先輩、三谷彰紀先輩、山北真也先輩、谷原康弘先輩、吉原敏兼先輩、川原浩太先輩、高橋洋樹先輩、ご卒業誠におめでとうございます。新たなステージでの益々のご活躍を心より祈念いたします。

(記事：2020年度 総務広報委員会 委員長 山本 圭介)



三谷彰紀先輩



鍋島巧先輩



山北真也先輩



岡田健吾先輩



谷原康弘先輩



中谷純也先輩



吉原敏兼先輩



川原浩太先輩



高橋洋樹先輩

2020年は年の始めからコロナウイルス感染症の流行が起り、尾道青年会議所の事業と活動と活動は8月まで中止となりました。皆様ご存じの通り、尾道青年会議所の活動は家族の理解と支援無しでは続けていく事が出来ません。我々は例年なら実施しているはずの事業の中止で家族と活動する時間、感謝を伝える機会を失いました。このコロナ禍で何が出来るか？そんな中、ささやかでも年の最後に贈り物と共に感謝を

真のしあわせを知る経営者育成委員会は2020年12月24日のクリスマススイブに尾道青年会議所メンバーのご家族を対象に「Uberサンタ」事業を実施致しました。



この度の事業実施に際し、ご協力いただきました全ての皆様に心から感謝申し上げます。
(記事：2020年度真のしあわせを知る経営者育成委員会委員長 岡本 大輔)

伝えようと考えたのがこの事業です。感染リスクを抑え、メンバーの家族を喜ばせる。年の最後に喜びがあれば何となくでも良い年末を皆が迎えられるのではないかと、そんな思いでした。
事業の実施日まではメンバーより多くの応募をいただき、沢山のご家族に贈り物を渡す事が叶い、それと共に感謝を伝える事が出来ました。サンタクロースの訪問で泣いてしまう子、本当に喜んでくれた子と反応は様々でしたが自粛期間が長かった2020年の良い思い出となるとくれると思います。

2021年度 委員長 あいさつ



未来ビジョン委員会 委員長 内海 洋平



◆テーマ「楽しみのある未来」

本年度、未来ビジョン委員会の委員長を務めさせていただきます内海洋平です。新型コロナウイルスの出現により変化した状況を受け入れつつ、次世代の活力につながる楽しみのある未来を創造する活動を、委員会メンバーとともに考え、チャレンジし、地域を盛り上げていきたいと考えています。みなさま、1年間どうぞよろしくお願い致します。

社会開発委員会 委員長 大池 慎三



◆テーマ「楽しんで」

新年明けましておめでとうございます。本年度、社会開発委員会委員長を務めさせていただきます。大池慎三です。まず、先輩方が築いてきたことを学び、所信の(楽しんで)をもっとうに、委員会メンバーと祭り行事の参画、防災意識向上のため、まず自分たちが学び地域の皆様にお伝えできるよう頑張っていきたいと思っております。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

地域教育実践委員会 委員長 島田 昌広



◆テーマ「取捨選択」

本年度、地域教育実践委員会の委員長を務めさせていただきます。島田昌広と申します。子ども達に「安定した豊かな心」を養ってほしい。その思いを根底としながら、固定概念を捨て、幅広い視野で事業構築に取り組んでいきたいと思っております。現状を受け入れ、最善を尽くしていけば、新しい発見があると思っております。委員会メンバーと共に、そういった経験を積み重ねていきたいと思っております。皆様、一年間どうぞ宜しくお願い致します。

組織活性化委員会 委員長 山本 恭平



◆テーマ「縁」

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年度、組織活性化委員会の委員長を務めさせていただきます山本と申します。当委員会では「縁」をテーマとして、会員同士の繋がりを更に深める為の活動を行ってまいります。また、安楽城理事長が掲げる「粋～前向きに楽しく～」の基、今まで以上に活気と魅力に溢れる尾道青年会議所になるよう委員会のメンバーと共に精一杯努めてまいります。1年間どうぞ宜しくお願い致します。

拡大研修委員会 委員長 吉田 高正



◆テーマ「とんぼ」

明けましておめでとうございます。本年度、拡大研修委員会委員長を務めます吉田高正です。一人でも多くの個性的で魅力的な仲間を迎えられるように、「とんぼ」の精神で拡大に全力で取り組みます。委員長という責任ある立場を通じて自分の殻を破り、メンバーと共に成長することのできる一年間にしたいと思います。拡大活動にご協力をお願いする場面もあると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

総務広報委員会 委員長 小西 琢真



◆テーマ「恩返し」

新年明けましておめでとうございます。本年度、総務広報委員会の委員長を務めさせていただきます小西琢真と申します。テーマを「恩返し」として、JCに入会してからの出会いと出来事に感謝をし、その恩返しのために所管業務を通じてメンバーと尾道の為に頑張る所存です。細かいところまで気配りができる、そんな総務広報委員会を目指します。一年間、よろしくお願いいたします。

事務局長 加藤 雄大



明けましておめでとうございます。本年度、事務局長を務めさせて頂く加藤雄大と申します。安楽城理事長の掲げられた『粋～前向きに、楽しく～』のテーマのもと、困難な状況下においても、大切なことを見極め、活力を周りに波及させる。そうした気概を持ちながら、前向きに、楽しく、メンバーの皆様の活動をサポートして参ります。一年間どうぞ宜しくお願い致します。



小西 琢真の
がちり

新年明けましておめでとうございます。総務広報委員長の小西です。今年は編集後記の代わりに「小西琢真のがちり」を連載します。ここでは、メンバーから集めた業界ならではの話など興味を持てる記事を発表して、皆さんの心をはらみ掴むコラムにしたいと思います。一年間よろしくお願いします。

(記事：小西 琢真)